

第2回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST(Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、講演、パネルディスカッション、フォーラム総括等によりESTの取組みについて検討する「EST普及推進フォーラム」を開催した。本フォーラムでは、一昨年度と昨年度に開催したシンポジウムの内容を一層深めるため、講演によるESTの紹介に留まらず、パネルディスカッションにおいて、ESTとはどうあるべきか、地方自治体、交通事業者、学識経験者及び国を交えて議論した。また、フォーラム総括では、長期的視野での議論を行い、参加者に向けてESTの実施を呼びかけた。

当日の参加者は、地方自治体や交通事業者など213名が参加した。当日のパネルディスカッションの様子は、平成20年1月26日(土)6:15からNHK総合「おはよう日本」において取り上げられたほか、平成20年2月15日(金)に日本経済新聞別刷「地球環境広告特集」において開催結果を掲載した。

日時:平成20年1月25日(金) 10:00~16:25

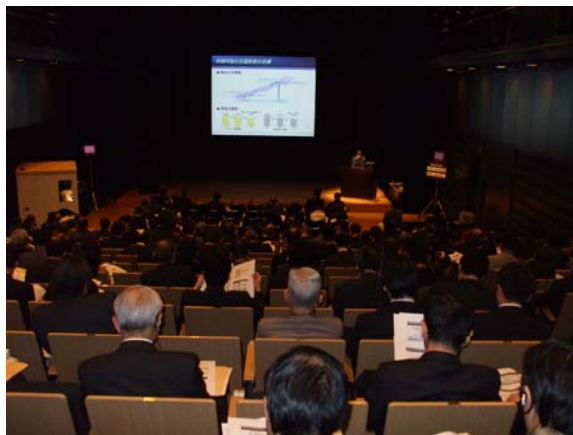
会場:丸ビルホール

主催:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会

後援:国土交通省、環境省、警察庁、社団法人日本民営鉄道協会、

社団法人日本自動車工業会、社団法人日本バス協会

事務局:交通エコロジー・モビリティ財団



←開催風景

広報チラシ→

第2回「EST普及推進フォーラム」開催ご案内



EST (Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通) の普及促進を図るため、講演、パネルディスカッション、フォーラム総括等によりESTの取組みについて検討する「EST普及推進フォーラム」を開催します。

本フォーラムでは、一昨年度と昨年度に開催したシンポジウムの内容を一層深めるため、講演によるESTの紹介に留まらず、パネルディスカッションにおいて、ESTとはどうあるべきか、地方自治体、交通事業者、学識経験者及び国を交えて議論します。また、フォーラム総括では、長期的視野での議論を行い、参加者に向けてESTの実施を呼びかけます。

日時 : 平成20年1月25日(金) 10:00~16:25
(9:30受付開始)

会場 : 丸ビルホール
〒100-6307 千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階・8階
TEL: 03-3217-7111 (代)

主催 : 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会

後援(予定): 国土交通省、環境省、警察庁
社団法人日本民営鉄道協会、社団法人日本自動車工業会、
社団法人日本バス協会

事務局 : 交通エコロジー・モビリティ財団



環境的に持続可能な交通
Environmentally Sustainable Transport

第1部 開会挨拶・基調講演・特別講演

国土交通省、環境省からの開会挨拶のあと、まず、東京工業大学 藤井教授から、モビリティ・マネジメントを事例にESTと地球温暖化防止に向けた取組みについてご講演いただいた。続いて、韓国より招聘したゴー・ホンソク ソウル市交通本部交通政策課長より公共交通網の再生と自動車交通適正化の試みとして、ソウル市の事例を中心にご講演いただいた。

○開会挨拶

国土交通省総合政策局次長 北村 隆志

環境省水・大気環境局自動車環境対策課長 金丸 康夫

○基調講演「ESTと地球温暖化防止に向けた取組み～モビリティ・マネジメントを事例にして～」

藤井 聡 東京工業大学大学院理工学研究科教授

○特別講演「公共交通網の再生と自動車交通適正化の試み ～韓国ソウル市の取組み～」

ゴー・ホンソク 韓国ソウル市交通本部交通政策課長



第2部 パネルディスカッション「EST実現に向けた地域戦略の方向性」

司会： 加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科准教授
パネリスト： 浅野智恵美 環境カウンセラー
石黒 一之 八戸市都市開発部都市政策課長
大野 栄嗣 (社)日本自動車工業会地球環境部会副会長
桑田 俊一 国土交通省総合政策局環境政策課長
谷口 綾子 筑波大学大学院システム情報工学研究科講師
日比 義三 三岐鉄道株式会社常務取締役自動車部長

【概要】

京都議定書目標達成は、地球温暖化対策の第一歩であると同時に、ESTの第一歩である。京都議定書の先にあるCO2大幅削減に対応すべく、いかに従来のモータリゼーション一辺倒からカジを切れるかが今問われている。

これらを踏まえて、各主体にどのような行動が求められるのか、地方自治体、交通事業者、学識経験者、国土交通省を交えて、ESTの実現に向けて議論した。



第3部 フォーラム総括「脱温暖化2050に向けて ～次世代へのメッセージ～」

司会： 太田 勝敏 東洋大学国際地域学部国際地域学科教授
パネリスト： 加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科准教授
 ゴ・ホンソク 韓国・ソウル市交通本部交通政策課長
 藤井 聡 東京工業大学大学院理工学研究科教授
 藤塚 哲朗 環境省水・大気環境局水・大気環境国際協力推進室長

【概要】

まず、環境省藤塚哲朗氏から2050年に温室効果ガス半減を目指した、温暖化対策の国内戦略を説明し、
第1部、第2部に関する簡単な報告の後、
フォーラム総括の司会である東洋大学太田勝敏教授から、
2050年という次世代に向け我々が今取り組むべき課題を提案した。
最後に、各パネリストが、長期的視野で我々が何をすれば良いか
メッセージを提示した。

